



4 OJT教育と研修制度が充実 5 「ふくしまゼロカーボンアワード2025」に参加、軽油代替燃料の使用による、CO₂削減対策等が評価され優秀賞を受賞 6 社会貢献と社内の親睦を図ることを目的に、ゴミ拾いをイベント化した全社員参加の「スボGOMI大会」を毎年開催



「福島県の佐藤工業」として

昭和23年の創業以来、福島県の建設業者として、社会インフラの整備や民間工事を手掛けてきた「佐藤工業」。「誠実を旨に、良い仕事をして顧客の信頼を得る」を基本理念とし、長年の経験と確かな技術力、そして安全な施工で高品質な工事実績を積み重ねてきた。土木工事では道路、河川、橋梁、造成工事等の公共工事を主とし、建築工事では庁舎、文教施設、体育施設等の公共工事や病院、商業施設、工場、マンション等の民間工事を幅広く手掛けている。すべてのステークホルダーの期待や要望に応え、発注者から「佐藤工業の仕事で本当に良かった」と満足していただけるよう、強い責任感と情熱をもって品質向上に努めている。東日本大震災や令和元年東日本台風の復旧・復興工事にも数多く携わり、特に福島第一原発事故の除染関連工事は現在も行っている。地域の安全・安心を確保することは重要な責務と考えている。

ワークライフバランスを確保した働きがいのある職場

職種には、技術職、営業職、事務職があり、それぞれ重要な役割をもち会社が運営されている。社員が「佐藤工業で仕事をしたい」と誇りを持って本心に良かった」と誇りを持ち、若い世代は会社に魅力を感じ、女性は清潔と働き、ベテラン社員は生き生きと働ける会社を全社員で創っている。勤務は完全週休2日制、ノー残業デーを設けるなど全社員のワークライフバランスを確保。先輩社員が新人社員をサポートする「メンター制度」を導入し、新入社員が安心して働ける環境もつくっている。資格試験の受験料補助や合格祝い、資格手当の支給、リフレッシュ休暇制度、人間ドック受診など福利厚生も充実。20代33%、30代16%と社員の約半数が40歳未満。若手が活躍し、ベテランが手厚くフォローしている。UAV（ドローン）、ICT（情報化施工）、BIM（3次元の建物デジタルモデル）など様々な最新技術を取り入れ、働き方改革にもつながっている。

【会社情報】

- 設立 1948年10月21日
- 代表取締役社長 八巻 恵一
- 資本金 1億円
- 従業員数 143名(2026年1月現在)

〒960-8610
福島県福島市泉字清水内1番地
TEL / 024-557-1166
FAX / 024-558-8967
https://sato-kogyo.co.jp/

- 求人対象
- 高卒 専門卒 短大卒
- 大卒 中途

- インターンシップ
- 可能【体験期間】・1day仕事体験を毎月開催
- ・インターンシップを8月実施予定(5日間)
- 【申込方法】自社HP、リクナビ、マイナビ
- https://sato-kogyo.co.jp/saiyo/

- 採用担当者連絡先
- TEL / 024-557-1166
- E-mail / y-hata@sato-kogyo.co.jp

業務内容

●技術職

土木工事、建築工事の施工管理業務を担当。施工計画を作成し、発注者との打ち合わせや進捗管理を行い、品質、工程、安全、原価など計画通りに工事が進むよう全体を管理する。

●事務職

・工事部門 事務 技術者が現場の施工管理に集中できるよう、事務の側面から負担を軽減し円滑な現場運営を支える。

・総務 労働時間の管理や給与計算、福利厚生制度の運用や施設管理等を担当し、社員の働く環境整備を行う。

・経理 日々の現金管理から決算処理や税務に関する業務を担当し、会社の財務状況を正確に把握・管理する。

●営業職

官公庁から民間企業まで幅広く担当し、情報収集を行い、顧客の要望を聞き取り自社の技術を提案し、工事を受注。受注後も窓口となり工事部門と連携し顧客との信頼関係を築く役割を担う。また、受注に関連する契約書の作成や建設業許可等の申請業務を行う事務部門がある。

佐藤工業株式会社

総合建設業



採用情報・
各種申し込み・
問い合わせは
こちらから



福島市新学校給食センター新築工事(施工中)市内30校の小中学校に1日最大1万食の給食を提供予定



1 社内のDX化を推進し最新の技術を積極的に導入。デジタル技術を活用し業務の効率化と品質向上に取り組んでいる
2 国道4号線の交通渋滞解消を目的とした道路拡幅工事、難工事指定ながらも国土交通省東北地方整備局より優良工事表彰を受賞
3 次世代を担う学生の現場見学や職場体験を積極的に受け入れ、建設業の魅力を伝えている